

SPR News 99

May 2023

第34期定時総会を開催



第34期定時総会後の懇親会

- シリーズ 労働環境改善に向けて
日本ノーディックテクノロジー株式会社
- 協会だより デモ施工を実施（関西支部、九州支部）

第34期定時総会を開催



神山守会長

4月27日（木）、明治記念館（東京都港区）にて日本SPR工法協会「第34期定時総会」を開催。役員を選任を含む5議案が承認、可決され、新たに松本優三副会長、相澤宏暢理事、小原章裕監事が選任されました。新体制のもと、来年には35周年を迎える当協会が50年、60年とより一層発展する礎を築くべく、今後とも努力して参ります。

事業報告・事業計画

令和4年度 事業報告

● 施工実績

- ・SPR工法（SPR-NX工法を含む）：66,995m【205.6億円】
- ・SPR-SE工法：8,071m【34.9億円】
- ・オメガライナー工法：55,196m【31.3億円】

● 主な特筆すべき受注・施工実績

- 【北海道支部】オメガライナー工法：旭川市の管きよ更生工事（4年連続施工）
- 【東北支部】SPR-SE工法：宮城県の管渠改築工事（3件指定発注）
- 【東京支部】SPR工法：東京都の再構築工事（大口径矩形きよ、大口径馬蹄形きよ）
- 【北関東支部】SPR工法：埼玉県の管渠改築等工事（6年連続SPR工法設計）
- 【南関東支部】SPR-NX工法：成田市の下水道管路施設改築工事（初採用）
- 【北陸支部】SPR-SE工法：水見市の管渠改築工事（2年連続指定発注）
- 【東海支部】SPR-SE工法：静岡県沼津土木事務所の管渠更生工事（指定発注）
- 【関西支部】SPR-NX工法：奈良県の長寿命化対策工事（初受注）
- 【中・四国支部】SPR・オメガライナー工法：広島市の下水道改築工事（G7サミットに伴う緊急対策路線を遅延なく施工）
- 【九州支部】SPR工法：北九州市の管渠更生工事（高水位現場における総合評価物件を受注）
- 【沖縄】SPR工法：宜野湾市の雨水幹線改築工事（2年連続指定発注）

● 事業報告

- ・定時総会を明治記念館で開催し、オミクロン株の急拡大とも重なったため、懇親会は行わず、昨年度同様、インターネット配信を併用した。
- ・普及・宣伝活動は、下水道展が5年ぶりに東京で開催され、3万人超が来場。当協会ブースでも自由断面SPR工法によるデモ施工を行い、1,000人超が訪れた。
- ・講習・研修活動は、下水道管路更生管理技士資格のオンラインによる一次対策講習と更新講習が定着。またSPR-SE工法のオンライン化への移行準備を完了した。

令和5年度 事業計画

● 事業目標

- ・SPR工法（SPR-NX工法含む）：79,000m【215億円】
- ・SPR-SE工法：9,000m【38億円】
- ・オメガライナー工法：60,000m【35億円】
- ・RPC工法：200m【2億円】

● 事業計画予定

- ・各工法の内容や特長を理解していただくために発注者や設計コンサルタント等を対象とした研修会や説明会、デモ施工を随時開催する。また、下水道展'23札幌、下水道管更生技術施工展2023高知に出展する。
- ・SPR工法、SPR-SE工法、オメガライナー工法等、取扱工法の工事現場で施工管理に携わる「下水道管路更生管理技士」及び、施工に携わる「管路更生専門技士」並びに「取付管口穿孔技士」の資格について、取得希望者と更新予定者を対象に、支部、開発者等と協力して各種講習等を実施する。
- ・地域の多様化するニーズに細かく対応するため、支部活性化助成金制度を継続し、支部活動の一層の活性化を目指す。

感謝状贈呈・支部表彰(令和4年度)

役員を退任されたお二方に協会発展と工法の普及・拡大に貢献された功績をたたえ、感謝状を贈呈しました。

また、支部表彰では令和4年度に成果を上げた4支部を表彰しました。

感謝状表彰

- 棚橋和憲 前副会長
- 成田良秋 前監事

支部表彰

- 【北関東支部】 SPR工法年間施工延長大幅拡大
- 【東海支部】 SPR工法（農業用水部門）年間施工最高実績
- 【関西支部】 SPR-SE工法年間施工最高実績、下水道管路更生管理技士新規登録者数最高実績
- 【九州支部】 オメガライナー工法年間施工最高実績、オメガライナー工法年間施工延長大幅拡大、オメガライナー工法（支部別）年間施工延長過去最高実績、新規会員の大幅加入



九州支部の松山孝義支部長が謝辞



受賞者一同

新任役員

役員改選に伴い、副会長、理事、監事が新たに選任されました。



松本 優三 副会長

(株)松本組
代表取締役社長



相澤 宏暢 理事

(株)山越
代表取締役社長



小原 章裕 監事

奈良建設(株)
執行役員 本店営業部長

第33期定時総会以降に新規会員になられた29社(五十音順)

(株)イマックス/エトウ建設(株)/大神建設(株)/折本工業(株)/環境開発公社/小池土木(株)/斎藤組/三枝工業(株)/山仲開発/三陸土建(株)/重成土建/白江産業(株)/瀬戸内土木工業(有)/大旭建業(株)/タカヨ建設(株)/秩父土建(株)/中村建設(株)/夏目建設(株)/日本プロダクト(株)/有原田興業/東日本コンクリート(株)/菱中建設(株)石巻支店/フルタ工業(株)/星田建設工業(株)/有前田建設/三国建設(株)/水本重機(株)/三宅組(株)/ワタケン

懇親会

総会後の懇親会はコロナ禍以来、4年ぶりに開催し、国土交通省、東京都下水道局をはじめ、関係団体から来賓の方々にお越しいただきました。

主催者挨拶

会員企業の努力のおかげで、当協会の施工実績は2年連続で前年度を上回りました。今後も当協会が管更生工法の業界において、これまで以上に確固たる地位を確立するためには、会員企業の受注施工体制の充実、現場品質の向上が重要になります。これからも過去の実績に甘んじることなく、さらに研鑽を積んで努力していかなければなりません。

当協会は来年で35周年を迎えます。私も会長として、会員企業の皆様がこれまで以上に安心して当協会の取扱工法を採用していただけるよう努力してまいります。引き続きご支援ご協力をお願いいたします。



日本 SPR 工法協会
神山 守会長

開発者代表挨拶

SPR 工法は当社を代表する技術であると同時に老朽化対策等の社会課題に不可欠な工法であると年々心にかけています。その中で当社が皆様に貢献できることは、より安全に、そして早く仕事ができる材料を提供することです。

今後も安全第一が基本ですが、より工事の制限を克服できるような技術の改良・開発や中口径の画期的な工法を提供していけるよう取り組んでまいります。今後も会員の皆様より要望をいただき製品開発に生かしてまいりたいと思います。



積水化学工業(株)
取締役専務執行役員
環境・ライフラインカンパニー
プレジデント
平居 義幸氏

ご挨拶頂いた来賓の方々



平成 27 年の下水道法改正で維持修繕基準を設け、腐食の恐れのある箇所に対し 5 年に 1 回の点検をお願いし、現在 5 年以上が経過し一巡しました。全国で危険箇所が事前に発見され、SPR 工法をはじめとした技術で改築していただくことで、予防保全の実践に寄与していただいていることに誠に感謝しています。

年々、改築事業量は伸びており、老朽化対策は皆様の力なくしては解決できません。ぜひ今後もお力添えをいただきますようお願いいたします。

国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道企画課
下水道事業調整官
堂蘭 洋昭氏



乾杯の挨拶は
日本下水道事業団
森岡泰裕理事長



東京都は令和3年に経営計画2021を策定し、様々な事業を進めています。中でも下水道管の再構築は最重要課題です。現在、枝線と幹線で再構築を進めていますが、その中でも SPR 工法を多く採用しており、まさに皆様あっての再構築事業だと感じています。

SPR 工法は更生工法のトップランナーであり、老朽化の対策技術として常に最先端で進歩を続けている技術です。東京都の都市活動を支える下水道が機能を十全に発揮できるよう努めてまいりますので、今後ともご協力いただきますようお願いいたします。

東京都公営企業管理者 下水道局長
佐々木 健氏



森岡理事長のご発声で乾杯

当協会の SPR 工法は、下水供用下で施工できるというメリットが発注者に受け入れられたことで施工実績を重ねてきましたが、一方で現場で施工する作業員の負担も大きく、少子高齢化に伴い、ただでさえ働き手が減っている中で、従事する職員の採用・育成、また離職率低下への対策を進めていかなければ、現在の事業量を維持していくことすら困難になることが懸念されています。そこで、今号から当協会会員企業や協力会社従業員の労働環境改善のための取り組みをご紹介いただくコーナーを企画しました。他会員の参考となる誌面になりましたら幸いです。

クラウド化で長時間労働への意識を変革

日本ノーディッグテクノロジー株式会社
総務人事部
藤野 三枝

勤怠管理をクラウド化し、有給休暇取得促進

2018年に働き方改革関連法が改正された際、建設業中小企業である当社は、2019年4月の同法施行に向けて「勤怠申請のクラウド化」と「5日間の有給休暇取得促進」から取り組み始めました。

それまでの勤怠管理は、社員個人が Excel を使い 1 カ月分を事後申請していたため、長時間労働や連続勤務の実態があったとしても、すでに過ぎてしまったこととして処理せざるを得ませんでした。また、有給休暇にいたっては、2018年までの5日間取得率は会社全体で35%程度であり、特に現場では有休が取りづらく、2年間の期限内で取得できないまま消滅してしまうケースも目立っていました。

勤怠管理をクラウド化したことで、残業申請や勤務実績、休暇申請がリアルタイムで一元管理できるようになったのと同時に、いつでもスマートフォンからアクセスすることができ、申請・承認も可能になったため、管理する側も使用する側も格段に効率が上がりました。

長時間労働や有休未取得に関しては、システム内のアラート機能を使い対象者に促しています。結果として、長時間労働は身体へ甚大な影響を与えること、有休は当然取得できるものとして社員の意識が大きく変わったようです。今では有休取得率は100%で、取得日数は全体平均で約10日間となっています。

さらに、消滅した有休を積み立て、最大120日休

みが取得できる「積立年休制度」を導入しました。自身の傷病や家族の介護時など、万が一に備えられる仕組みをつくることで安心して働ける環境を実現できればと考えています。



タブレットを支給し、現場作業を効率化



デジタル機器の導入により、ICT化の推進を加速

コロナ禍における対応

その他の取り組みとしては、このコロナ禍において従業員を未知のウイルスからどう守るかが、皮肉にも環境改善への追い風となりました。

私たち管更生の仕事は、例えこのような状況であっても、現場は止まることなく稼働し続けなければなりません。そこで感染リスクを考え、人同士の接触を避けるため社員全員にタブレットとモバイルPCを支給し、会議はすべてWEB会議に切り替えました。現場には直行直帰、事務系社員は在宅勤務と時差勤務を取り入れ、その他電子決裁やチャットツールも導入する等、一気にICT化と働き方の多様化が進むこととなりました。

2021年には社員のみならず、家族や現場で共に働く協力会社の方、延べ250人に対し新型コロナワクチンの職域接種を実施しました。罹患してしまった社員には、特別休暇扱いで休養してもらい、コロナウイルスによる後遺症が残ってしまった場合、最大2カ月間を特別休暇として扱うことで対応してまいりました。

この5月には新型コロナウイルス感染症が感染症法上の位置付けを現行の2類相当から5類に引き下

げられ、感染対策は一個人の判断に委ねられようとしています。

目まぐるしく変化し、予測不能なこの時代においては、企業はいかに安心して長く働ける労働環境を提供できるか、世の中の動きを敏感に捉えつつ社員に目を向け、常にアップデートしていくことが求められています。

労働環境の改善で未来を守り、会社を守る

当社では、2022年4月の育児・介護休業法の改正を受け、2023年2月に、「男性社員育休取得支援制度」を導入しました。これからの時代に向け、建設業であっても男性が育休を取得できる会社になりたいと考えています。

このような労働環境の改善は、活躍する従業員の心と体の健康を守り、未来を守ること、そして会社を守ることに繋がると 생각합니다。

これから訪れる建設業2024年問題等、まだまだ課題や改善すべきことが山積していますが、当社は、日々進化し続ける企業でありたいと思います。

デモ施工を実施（関西支部）

◎関西支部：勉強会・研修会に参加

・奈良市 雨天時浸入水勉強会でPR

関西支部は2月9日に奈良県・流域下水道センターで開催された「令和4年度奈良県流域下水道雨天時浸入水等勉強会」でデモ施工を行いました。

県下自治体に参加した同勉強会では雨天時浸入水調査技術が紹介された後に、浸入水の対策手法として、SPR工法を紹介し、自走式SPR工法の製管デモ施工を披露しました。

老朽化対策だけでなく雨天時浸入水対策にも貢献できる技術であることをPRしました。



雨天時浸入水対策手法として紹介

・神戸市 土木職員専門研修でデモ施工

関西支部は、3月14日に神戸市・中央水環境センターで開催された「令和4年度 下水道事業土木専門研修」で自立管製管工法のデモ施工を行いました。

同市の若手職員が参加した同研修会では、管更生工法をめぐる現状や各種管更生工法について解説した後、自立管製管工法のデモ施工を実施しました。

地下で施工されている管更生を地上で見ることでできる絶好の機会ということで、若手職員の方々に関心をもってご覧いただきました。



自立管製管工法を若手職員に紹介

デモ施工を実施（九州支部）

◎九州支部：福岡市、北九州市でデモ施工

九州支部は令和4年12月8日に福岡市の舞鶴公園鴻臚館広場、9日に北九州市のメディアドームでデモ施工を開催しました。

座学でSPR-SE工法について紹介した後、

自走式SPR工法の製管デモ施工とオメガライナー工法の拡径デモ施工、また、SPR-SE工法とSPR-NX工法の工法紹介を行いました。



オメガライナー工法の拡径デモ施工（福岡市）



自走式SPR工法の製管デモ施工（北九州市）

お知らせ

下水道展'23 札幌に出展

当協会は今夏の8月1日（火）～4日（金）に札幌市・札幌ドームで開催される下水道展'23 札幌（主催：（公社）日本下水道協会）に出展します。小間番号 N2-10 において、SPR ブラック号による自走式SPR工法の製管デモ施工を行う予定です。

皆様のご来場をお待ちしております。



昨年度のブースの様子